

令和5年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和4年10月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005
 四半期報告書提出予定日 令和4年10月14日 配当支払開始予定日 令和4年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年2月期第2四半期の連結業績（令和4年3月1日～令和4年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年2月期第2四半期	4,508	53.1	335	62.0	344	61.9	238	46.0
4年2月期第2四半期	2,945	4.5	206	54.2	212	55.7	163	46.0

(注) 包括利益 5年2月期第2四半期 265百万円 (67.6%) 4年2月期第2四半期 158百万円 (27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年2月期第2四半期	28.86	—
4年2月期第2四半期	19.75	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和5年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年2月期第2四半期	4,690	3,966	84.6	479.83
4年2月期	4,331	3,735	86.2	452.57

(参考) 自己資本 5年2月期第2四半期 3,966百万円 4年2月期 3,735百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和5年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年2月期	—	4.00	—	5.00	9.00
5年2月期	—	6.00	—	—	—
5年2月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年2月期の連結業績予想（令和4年3月1日～令和5年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	35.4	500	9.9	500	6.0	340	1.7	41.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

5年2月期2Q	8,490,103株	4年2月期	8,490,103株
5年2月期2Q	222,677株	4年2月期	236,909株
5年2月期2Q	8,258,245株	4年2月期2Q	8,266,945株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、「新型コロナウイルス感染症」の行動制限が緩和され新規感染者数が急増する中でも継続して経済活動及び海外との交流レベルを段階的に引き上げていく動きが見えている一方、米国の金融政策等による急激な為替変動やウクライナ侵攻問題、中国のロックダウン等の影響によって輸入原材料が高騰し商品の値上げが相次ぐなど依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,508百万円（前年同期比53.1%増）、営業利益は335百万円（前年同期比62.0%増）、経常利益は344百万円（前年同期比61.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は238百万円（前年同期比46.0%増）と前年同期実績を上回りました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費がそれぞれ9百万円減少しましたが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益に与える影響はありません。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数急増の影響により取引先店舗の来場者数は減少したものの、「サラブレッドコレクション」や「たべっ子どうぶつ」等の定番キャラクター商品の受注が引き続き好調に推移した結果、売上高3,290百万円（前年同期比79.1%増）、営業利益277百万円（前年同期比77.7%増）と前年同期実績を上回りました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業は、人気お菓子キャラクター「たべっ子どうぶつ」商品や「星のカービィ」「ポケットモンスター」等の定番キャラクター商品の販売が好調であったことに加え、バスボール（フィギュア入り入浴剤）の販売も引き続き好調に推移した結果、売上高1,218百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益57百万円（前年同期比13.8%増）と前年同期実績を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて359百万円増加し、4,690百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少額380百万円により一部相殺されたものの、受取手形、売掛金及び契約資産（前連結会計年度末は受取手形及び売掛金）の増加額525百万円、流動資産「その他」の増加額133百万円、商品の増加額109百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて127百万円増加し、723百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額121百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて231百万円増加し、3,966百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額197百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益238百万円、剰余金の配当△41百万円）によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて380百万円減少し、2,409百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、341百万円（前年同期は0百万円の使用）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益344百万円、仕入債務の増加額120百万円により一部相殺されたものの、売上債権の増加額532百万円、棚卸資産の増加額105百万円があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18百万円（前年同期は16百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出17百万円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、40百万円（前年同期は50百万円の使用）となりました。

これは、配当金の支払額40百万円があったことを反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、令和4年4月14日に公表いたしました令和5年2月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（令和4年10月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,790,672	2,409,754
受取手形及び売掛金	687,122	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,212,964
電子記録債権	181,183	191,253
商品	208,446	317,887
その他	191,347	324,816
貸倒引当金	△254	△3,162
流動資産合計	4,058,517	4,453,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△14,697	△14,697
建物及び構築物(純額)	0	0
その他	203,275	220,343
減価償却累計額	△183,550	△195,164
その他(純額)	19,724	25,179
有形固定資産合計	19,724	25,179
無形固定資産	29,710	23,646
投資その他の資産		
投資有価証券	73,661	103,823
退職給付に係る資産	46,490	44,692
繰延税金資産	91,113	28,251
その他	12,879	17,970
貸倒引当金	△771	△6,114
投資その他の資産合計	223,373	188,621
固定資産合計	272,808	237,447
資産合計	4,331,326	4,690,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	269,043	390,638
未払法人税等	75,551	61,700
賞与引当金	22,680	31,625
その他	183,768	202,441
流動負債合計	551,043	686,406
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	2,961	187
その他	42,208	37,375
固定負債合計	45,169	37,562
負債合計	596,213	723,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	494,737	494,389
利益剰余金	2,852,326	3,049,391
自己株式	△110,502	△102,480
株主資本合計	3,698,558	3,903,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,608	49,655
繰延ヘッジ損益	4,221	1,625
為替換算調整勘定	2,724	12,413
その他の包括利益累計額合計	36,554	63,695
純資産合計	3,735,113	3,966,992
負債純資産合計	4,331,326	4,690,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)
売上高	2,945,567	4,508,751
売上原価	2,036,413	3,367,776
売上総利益	909,154	1,140,974
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	216,754	224,675
賞与引当金繰入額	29,150	31,625
退職給付費用	7,578	10,729
執行役員退職慰労引当金繰入額	517	447
荷造運搬費	155,031	218,939
貸倒引当金繰入額	79	8,273
その他	293,255	311,233
販売費及び一般管理費合計	702,367	805,923
営業利益	206,787	335,051
営業外収益		
受取利息	39	93
受取配当金	578	611
為替差益	1,914	8,736
雇用調整助成金	2,955	—
その他	793	186
営業外収益合計	6,281	9,627
営業外費用		
自己株式取得費用	208	—
その他	1	12
営業外費用合計	209	12
経常利益	212,858	344,666
税金等調整前四半期純利益	212,858	344,666
法人税、住民税及び事業税	36,808	51,207
法人税等調整額	12,756	55,127
法人税等合計	49,565	106,335
四半期純利益	163,292	238,331
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,292	238,331

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)
四半期純利益	163,292	238,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,059	20,047
繰延ヘッジ損益	△2,088	△2,596
為替換算調整勘定	2,256	9,688
その他の包括利益合計	△4,892	27,140
四半期包括利益	158,400	265,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,400	265,472
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	212,858	344,666
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,675	8,945
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	517	△2,774
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	79	8,250
受取利息及び受取配当金	△617	△705
売上債権の増減額 (△は増加)	△224,189	△532,255
棚卸資産の増減額 (△は増加)	73,644	△105,977
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,460	120,622
その他	△85,543	△118,598
小計	884	△277,826
利息及び配当金の受取額	617	705
法人税等の支払額	△1,778	△63,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	△276	△341,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,471	△17,001
その他	△1,275	△1,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,746	△18,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△121,250	—
配当金の支払額	△33,641	△40,536
その他	△483	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,375	△40,536
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,276	18,926
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,121	△380,917
現金及び現金同等物の期首残高	2,613,178	2,790,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,443,057	2,409,754

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売費の一部について、売上高から減額しております。また、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品の販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費がそれぞれ9,644千円減少しております。営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響については、前連結会計年度末時点の仮定に重要な変更を行っておらず、当該仮定に基づき、繰延税金資産(28,251千円)の計上にあたっては、将来の課税所得の見積を行い回収可能性の判断を行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況やその経済への影響が当初の想定より変化した場合、繰延税金資産が減額され税金費用が計上される可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和3年3月1日 至 令和3年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,837,313	1,108,254	2,945,567	—	2,945,567
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,837,313	1,108,254	2,945,567	—	2,945,567
セグメント利益	156,009	50,777	206,787	—	206,787

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,290,149	1,218,601	4,508,751	—	4,508,751
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,486	1,486	△1,486	—
計	3,290,149	1,220,088	4,510,238	△1,486	4,508,751
セグメント利益	277,269	57,782	335,051	—	335,051

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 令和4年3月1日 至 令和4年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	キャラクター エンタテインメント事業	キャラクター・ ファンシー事業	計
アミューズメント施設等への販売	3,051,342	—	3,051,342
カプセルトイ事業者への販売	234,927	—	234,927
ファンシーグッズの専門店・ 量販店等への販売	—	1,206,503	1,206,503
eコマース販売	—	12,098	12,098
ロイヤリティ収入	3,879	—	3,879
顧客との契約から生じる収益	3,290,149	1,218,601	4,508,751
その他の収益	—	—	—
計	3,290,149	1,218,601	4,508,751